

令和4年度

第1回 大垣市子育て支援会議 会議録

令和4年度 第1回 大垣市子育て支援会議 会議録

日 時 令和4年8月10日（水）
13：30～15：00
場 所 市役所8階 大会議室

1. 会議次第

(1) 委員の委嘱について

(2) 議題

大垣市第三次子育て支援計画の令和3年度事業実績及び
令和4年度実施計画について

(3) 報告事項

- ① 大垣市の公立保育園・幼稚園のあり方懇談会について
- ② 公立幼稚園の廃園について

2. 出欠席等の状況

(1) 出席委員：13名（敬称略）

区分	氏名	役職等
学識経験者	光井 恵子	大垣女子短期大学幼児教育学科 学科長
	高橋 利行	岐阜協立大学 副学長
子育てに関し優れた識見を有する者	井上 直美	大垣市民生・児童委員協議会 主任児童委員会 会長
	岩田 和行	大垣私立幼稚園連合会 大垣幼稚園 園長
	山田 貴史	大垣民間保育園連合会 はだしっこ保育園 園長
	大江 由美子	大垣市PTA連合会 副会長
	大橋 奈麻輝	社会福祉法人 大垣市社会福祉協議会 事務局長
	三代 広子	大垣市子ども会育成連絡協議会 会長
	安田 典子	特定非営利活動法人 くすくす 理事長
その他市長が適当と認める者	沼口 諭	大垣市医師会 会長
	三輪 正直	大垣商工会議所 専務理事
	堀場 貴仁	連合岐阜西濃地域協議会 事務局長
公募委員	出崎 拓哉	

(2) 欠席委員：2名（敬称略）

区分	氏名	役職等
子育てに関し優れた識見を有する者	小竹 康一	大垣市小中学校長会 綾里小学校 校長
公募委員	伊藤 明子	

(3) 事務局：15名

早崎 広俊 (こども未来部長)
浅井 靖弘 (子育て支援課長)
川崎 彰浩 (保育課長)
林 美智代 (保育課対策官)
吉田 英正 (子育て総合支援センター所長)
高木 康洋 (子育て支援課主幹)
神田 孝行 (子育て支援課主幹)
渡邊 英佑 (子育て支援課主幹)
藤橋 大 (保育課主幹)
伊藤 元之 (まちづくり推進課男女共同参画推進室主幹)
御田村 真理 (保健センター主幹)
栗木 祐子 (学校教育課主任指導主事)
田島 善之 (社会教育スポーツ課主幹)
安藤 貴史 (子育て支援課主事)
服部 夕里子 (子育て支援課主事)

(4) 傍聴者 0名

3. 議事

(1) 委員の委嘱について

団体の役員改選などにより、今年度から新たに大江委員、小竹委員に就任いただく。

(2) 議題の審議

1. 大垣市第三次子育て支援計画の令和3年度事業実績及び
令和4年度実施計画について

資料No. 1-1 大垣市第三次子育て支援計画の令和3年度事業実績及び令和4年度
実施計画 (案) について

資料No. 1-2 大垣市第三次子育て支援計画 計画事業一覧

事務局 資料説明

会 長 意見、質問等があれば挙手の上、発言願いたい。

委員 A 計画No.195の「子ども食堂の運営支援」について、大垣では7つの団体が登録されているようだが、県内でも活動する団体が増えてきており、今後ますます子どもの居場所づくりの需要が増え、市による補助が重要になると考える。

事務局 子ども食堂運営補助金について、現在市では7団体からの申請があり、交付が決定している。今後も地域と協働し、子どもの居場所の確保に努める。

委員B 計画No.6「保育者の定着促進」について、保育の現場で実際利用し就職している職員もいるため、ぜひ続けていただきたい。また新型コロナウイルス感染症の拡大の影響もあり、少子化が加速し、保育園も定員割れが問題になってくるが、ますます加速している少子化への対策をどう打っていくのか。

事務局 少子化について、育休退園制度の見直しや子ども食堂運営補助などを実施し、子育てしやすい環境の整備に努めている。今後も市民のニーズを把握して、各課でできるところから子育てしやすい環境の整備に努めてまいる。

委員B 育休退園について、現在2歳児まで緩和されているが、1歳児についても検討していただきたい。また、子育て支援センターや子育てサロンなど、子育て中の親子が「いつでもだれでも来ていい場所」の創出をお願いしたい。

委員C 大垣市は「子育て日本一」を掲げているが、具体的にどういったことを目標としているのか。資料No.1-1および1-2に示されている数値では、どういった姿を目指しているのかが分からない。例えば1つの目標が全国レベルではこうですよ、県レベルではこう、大垣では全国的に平均になりますよ、などと目標となる姿を可視化していただき、それに向かって計画を立て、施策の有効性を評価していくことが必要ではないか。

事務局 「子育て日本一」を掲げて、定住人口の増加、交流人口の増加を目指しており、その実現に向けて施策を行っているものであるが、今回の資料に示されている実績値は、実施している施策に対する評価の値であって、目標となる姿への達成率を表したものではない。施策の実績値と目標となる姿への達成率の関連を可視化出来ることも考えていきたい。

委員D 乳幼児に対する支援については多岐にわたって手厚いが、小学校低学年、中学年の児童を対象とした支援について、十分でないと感じる。現在行っている施策は、低所得者や一人親家庭を対象としたものもあり、全ての子育て家庭が享受できるものではない。例えば、留守家庭児童教室ではカバー出来ない、緊急時の学校へのお迎えや、来年度から始まるゴミ袋有料化なども、義務教育の間だけでも無料の袋を支給してほしいなどという声を聴いており、働きながら子育てする家庭への支援をいただきたい。

事務局 子が就学してからの支援について、各関係部署と連携しニーズを把握し、支援に努めてまいる。

会長 その他、意見等はないか。

委員 (発言無し)

会 長 「議題1：大垣市第三次子育て支援計画の令和3年度事業実績及び令和4年度実施計画について」は「承認」としてよろしいか。

委 員 （異議なし）

会 長 議題1は、「原案どおり承認」とする。

2. 報告事項① 大垣市の公立保育園・幼稚園のあり方懇談会について

資料No. 3 大垣市の公立保育園・幼稚園のあり方懇談会について

事務局 資料説明

会 長 意見、質問等があれば挙手の上、発言願いたい。

委 員 （意見無し）

会 長 意見なしのため、続いての報告事項に移る。

2. 報告事項② 公立幼稚園の廃園について

資料No. 4 公立幼稚園の廃園について

事務局 資料説明

会 長 意見、質問等があれば挙手の上、発言願いたい。

委 員 （意見なし）

会 長 本日の議題についてはすべて終了したが、その他、意見、質問等あれば発言願いたい。

委員E 子育て支援計画の実績値について、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたと説明のあった事業について、本当に原因は感染症拡大の影響であるのか。例えば計画No.36の児童遊園地の整備について、このような情勢・気候である中で本当に必要な施策であるのか見極めていただきたい。また、計画No. 39「墨俣児童館の運営・開放」について、感染症の影響を受け実績値が減少とあるが、本当にそうか。墨俣児童館を利用したいが、遠方のため利用出来ないという声を聴くため、立地なども考慮して子どもの居場所の確保に努めていただきたい。

事務局 児童館の利用人数について、感染症の影響を受け、利用者が減少している

と把握しているが、感染症が収まったのちに利用者数が回復するかは分からない。墨俣児童館に限らず、子どもの居場所づくりについて検討してまいる。

委員F 実施計画については、本当に新型コロナウイルス感染症の影響だけか、検証は必要と感じる。

子育て支援の担い手について、今まで携わっていただいた方たちの高齢化もあり、担い手不足が深刻である。また、産後ケアについて、相談事業だけでなく、掃除や食事など家事のサポート事業を事業者と市が連携し、実施していくことが必要ではないか。

保育園・幼稚園のあり方懇談会について、具体的にどのように展開されるかが見えてこないが、どのような形で園の教育方針などに反映し、子どもたちに還元されていくのか、見える形で示してほしい。

事務局 担い手の不足は非常に重要な問題と考える。またほかの施策についても地域全体で取り組み、地域全体、社会全体で子育てをする機運の醸成に努める。

委員G 新規事業について説明いただきたい。

事務局 計画No.195「子ども食堂の運営支援」について、子どもの居場所づくりが市内でも広がっていることを受け、今年度より子ども食堂への補助事業を実施している。子ども食堂を運営する団体に対し、1回あたり1万円、上限20万円の補助金を交付するものである。

計画No.196「養育費の確保支援」について、養育費の確保について、公正証書および調停調書で取り決めた場合の経費について、10分の10の割合で、上限2万円の補助制度を今年4月より開始したところである。令和4年8月10日現在で3件の申請に繋がっている。

計画No.197「医療的ケア児の就学支援」について令和3年9月に「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」が施行されたことに伴い、各学校において、医療的ケアが必要なお子さんが学校教育を受けられるよう支援を行っていくものである。

委員H 子ども食堂について、一度見学に行ったが子どもの居場所としてとても良い活動と感じた。生活に困窮する家庭など、必要としているところへ届いてほしい。私は小学校のPTA活動をしているが、家庭教育学級は親子で学習するもので、こうした活動も子育ての支援に繋がればよいと感じた。

委員I 少子化で園の役割も増えていると感じているが、子どもの発達支援について、以前と比べて親たちはオープンになり、しっかり相談にも行っておられるようだ。ひまわり学園での療育など、今後とも発達支援の充実をお願いしたい。

少子化への対策について、まず結婚を促進することが必要と考える。結婚・

子育てへのサポート体制について、現在の対象世代がSNSを利用することなど、現状を分析したうえで、大垣市が結婚・子育てについて魅力ある市であるとPRしていただきたい。

委員J 現在実施している子育て支援施策について、実際市民、利用者がどう感じているか把握できていれば良いと思う。ニーズを把握し、事業を実施していただきたい。

働く親へのサポートについて、留守家庭児童教室は非常に大切な事業であると感じる。また大垣市は、外国人労働者も多いため、そういった方への支援も続けていってほしい。

委員K 医療的ケア児について、新しい取り組みとして実施となるが、さらに充実していってほしいと思う。特別支援学校での就学であると、健常者と交わらずに過ごす時間が多くなり、就職時に互いに接し方が分からない、という声を聴く。希望する家庭へは特別支援学校ではなく、健常者と同じ環境で教育することも必要であり、障がい者と区別するのではなく、共生していくという取り組みが始まっている。

新型コロナウイルス感染症について、PCR検査が十分に実施出来ない現状がある。症状ない方は自宅で様子を見ていただき、慌てず冷静に対処いただきたい。

副会長 幼稚園・保育園に対しては、非常に難しいことが要求されており、負担も大きいと感じる。様々なニーズに対応する園へ、教育内容や職員への支援をしていただきたい。場合によっては義務教育の年齢を引き下げること検討する必要があるのではないか。

子ども食堂運営支援について、公の機関が食生活についてどこまで関わるか見極める必要があるが、今年度から始まった事業であるため、結果をよく見て、次へつなげていただきたい。

会長 各委員から様々な意見を頂戴し、感謝申し上げます。

目の前の問題に限らず、少子化といった将来のことをよく見据えて、必要な支援を講じていく必要がある。

事務局 子育て支援会議の委員の任期について、大垣市子育て支援条例で、委員の任期は2年になっており、現在の任期は令和4年9月30日までである。今後、次の任期に向け、各団体への推薦依頼や委員就任の本人承諾など、事務手続きを進めさせていただく。在任中、何かとご多用の中、子育て支援会議にご出席いただき、様々な立場、あるいは色々な角度から多様なご意見をいただき感謝申し上げます。

本日の会議は以上をもって終了とさせていただきます。